

ユウタとコハル

画：ゴハチ



暮らしの中の千夜一話

窓から差し込む光が部屋を黄金色に染めている。祖母の遺品整理もそろそろ終わりかな。そんなことを思いながら最後にとっておいた古びた木箱を開けた。入っていたのは1枚の写真と布袋。写真には笑顔の祖母と小学生の私が並んで立っていて、その背景には薄紫の見事な花房をつけたフジの木が写っていた。「そうか、あれからもう10年か・・・」。祖母は庭仕事が好きで、中でもこのフジの木は自慢だった。「いいかい、フジは美しいだけじゃないんだよ」よくそう話していたのを覚えている。「長い年月をかけて、強く、そして優雅に成長していくんだよ」。小学生の私には少し難しい話だったけれど、フジの話をしながら、祖母が何か別のことを伝えようとしているのは何となく分かった。布袋には黒っぽいかたまりが数個入っていた。フジの種である。植物に詳しくない私がフジの種だと分かったのは、祖母がこれでおはじきを作ってくれたことを思い出したからだ。その種には、祖母の字で「未来へ」と書かれたメモが添えられていた。ふと窓の外に目をやると、祖母の自慢のフジの木が5月の陽ざしを浴びて輝いていた。立ち上がって窓を開ける。初夏の気配を含んださわやかな風がサーッと部屋に流れ込む。祖母は穏やかだけれど芯の強い人だった。どんな思いで「未来へ」と書いたのか。フジの種にどんな未来を重ねていたのか。私は迷った末に写真と小袋をリュックにしまい、木箱を閉じた。今17歳の私には、どんな未来が待っているのか。世の中がどんなに変化しても、変わらないものがきっとあるはずだ。私も長い年月をかけて、強く、そして優雅に成長しよう。急がずゆっくり生きよう。私は未来の自分にそう約束した。



今月のトピック：【ネオ銭湯】

老舗の銭湯をリニューアルした「ネオ銭湯」が全国に登場しています。風呂場のタイルや脱衣所のゴザなどレトロな雰囲気は残しつつ、湯上がりにクラフトビールやスパイスカレーを提供するなど、新旧混合の個性が魅力。音楽ライブや物産展など風呂とは無縁のイベントも好評です。銭湯の意義は、公衆衛生から心の浄化にシフトしたようです。



— 弊社のモットー —

私共はあなた様の想いに誠心誠意、奉仕致します。つまり、愚直に、真面目に、地道に、誠実に、謙虚に、スピード感を持ってことにあたります。

株式会社 エルフォルク

〒733-0002

広島市西区楠木町3丁目10-22

TEL：082-230-8870 FAX：082-230-8871

<https://www.tent-erfolg.co.jp>